



2016年2月吉日

各病院長殿  
各防災対策ご担当者殿

東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 助教・教授  
佐々木宏之・江川新一  
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員  
高田洋介  
大崎市民病院救命救急センター 救命救急センター長  
山内聡

医療機関における「受援計画」に関するアンケート調査  
～調査結果のご報告～

前略

寒冷の折、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2014年12月に当研究室で実施しました「医療機関における『受援計画』に関するアンケート調査」の概要がようやくまとまる運びとなりました。お忙しいなかアンケート調査にご協力下さいました各医療機関ご担当者様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。また、当初の予定より結果ご報告が大幅に遅れましたこと、心よりお詫び申し上げます。

本アンケート調査では調査票回収を2015年1月末まで行い、南海トラフ地震で被災が予想されている神奈川、静岡、愛知、三重、和歌山、大阪、兵庫、岡山、香川、徳島、高知、愛媛、広島、山口、大分、宮崎の16府県、614医療機関様よりご回答を頂戴しました。

今回調査における全医療機関の受援計画策定率は8.1%で、これは2013年に当研究室で実施した東日本大震災被災地域医療機関対象の同様調査の策定率5.4%をわずかながら上回る結果となりました。他の調査結果に関しても概要をご覧頂き、各医療機関様の受援力強化、防災・減災対策の一助となりますなら幸いです。

アンケート調査結果が出るまでに長期間を要してしまいましたことを深くお詫び申し上げますと同時に、ご協力頂きました皆様に重ねて厚く御礼申し上げます。

皆様のご健勝、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

草々



(本アンケート調査に関する連絡先)

佐々木宏之

東北大学災害科学国際研究所

災害医療国際協力学 助教

〒980-0873 仙台市青葉区星陵町 2-1 東北メディカル・メガバンク棟 557

TEL 022-273-6286 FAX 022-274-5966

E-mail: [hsasa@surg1.med.tohoku.ac.jp](mailto:hsasa@surg1.med.tohoku.ac.jp)

HP アドレス: <http://www.irides-icdm.med.tohoku.ac.jp>

(本アンケート調査結果を HP 上で公開しております)